

自民党憲法改正推進本部事務局長の磯崎陽輔首相補佐官に、憲法改正への考えを聞いた。

## 磯崎陽輔首相補佐官



インタビューに答える自民党憲法改正推進本部事務局長の磯崎陽輔首相補佐官

—なぜ今、憲法改正か。

現行憲法は、主権が制約され

り組むか。

—自民党として改憲にどう取

た占領中に連合国軍総司令部

党改憲草案と実際の改正は違

(GHQ)の指示で作られ、自

う。改憲の国会発議には、衆参

主憲法ではない。プライバシー

両院それぞれの3分の2以上の

ポイント。ポイントは来年の参院選だ。

改正に賛同する勢力が、どれだ

け議席を得られるかが課題とな

る。参院選以降に発議し、再来

年前半までに国民投票ができる

ようにしたい。

—改憲の順番は。

最初の改正は、多くの賛同を

得られる項目に集約される。緊

急事態条項の新設が、最大の項

目になるのではないか。2回目

以降では9条改正が一番大き

い。自衛隊や文民統制の規定が

必要だ。発議要件を定めた96条

の議論もしなければならない。

## 議員「3分の2」賛成求め

# 最大公約数を探る

権など新しい人権や、東日本大震災のような緊急事態への対応の規定がなく、時代にも合わない。現実のニーズに沿った改正を考へるべき時期だ。

賛成を得なければならぬ。多くの政党の理解が得られる最大公約数を見いだすことに尽きる。

—スケジュールは。